

令和3年度 第11回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2022.01.26 (水) 18:30-19:30

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 大谷 奥田
金村 川口 小西 酒井 須田 中西
西田 町野（書記） 宮腰 村上 大和 湯川（敬称略）
欠席委員： 手束（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2022年1月）：高相先生

高相担当理事から理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. JSSR-DB 合併症調査における症例登録数の現状、登録数を増やすための方針と登録期間延長について報告があった。

（イ）貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会アドバイザー）

酒井先生から下記報告がされた。

1. JOA 安全医療推進委員会内にワーキンググループ(WG)を設け、プリオン病感染予防ガイドラインに整形外科医として関わられた川崎市立多摩病院副院長松下和彦先生に参入頂いた。
2. 2021年12月14日、第1回安全医療推進・感染対策委員会プリオン病に関するWGを開催した。
3. プリオン病感染予防ガイドライン2020と厚労省からの通達（2021年7月13日付）の相違点について、ハイリスク手術手技の定義について説明がされた。
4. プリオン病感染予防ガイドライン2020の文言における解釈について、本委員会の認識を今後WGへ提案して頂く（展開を切開へ変更、周囲組織の注意書き）。
5. JSSR 関連施設におけるプリオン対策洗浄の実施状況について、脊椎内視鏡手術の洗浄滅菌状況について、JSSRにてアンケート調査する方向となった。
6. JSSR 関連施設代表指導医を対象に、一施設一回答のインターネット上でアンケート調査を行うため、今後アンケート原案を作成し本委員会で確認する。

2. 検討・報告事項

(ア) 脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究： 酒井先生、手束先生

手束先生に代わり酒井先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 4月のJSSR学会発表へ向け、2月中にメールにて発表スライドを委員で確認する。
2. 3月2日の本委員会において、発表スライド内容について最終確認の予定。

(イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 4月のJSSR学会発表に向け、2月中にメールにて発表スライドを委員で確認する。
2. 3月29日の本委員会において、発表スライド内容について最終確認の予定。

(ウ) JSSR 統合型 DB 進捗状況：金村先生

金村先生から JSSR 統合型 DB 進捗について下記報告がされた。

- ・1月26日16時までの集計で10035件の症例が登録された。
- ・新規登録締め切りを2月14日まで延長した（最終承認締め切りはさらに数ヶ月先）。
- ・指導医施設でもまだ未登録の施設が200-300程度ある。
- ・今後これらの施設を確定して再度リマインドをする予定。
- ・データ解析は5月以降になる見込み。
- ・2022年度は4月から通年開始する方向。

3. 次回、次々回委員会開催日

- ・約1ヶ月後のJSSR理事会開催後に予定（1時間の見込み）
- ・理事会が最終月曜日のため、月によっては月初の水曜日に予定
- ・【次回】2022.03.02（水）18時30分～
- ・【次々回】2022.03.29（火）18時30分～
- ・4月の本委員会は2022.04.23（土）朝、学会現地開催を予定